

避難所運営について

(各地区の取り組み紹介)



令和5年12月17日、加茂小中学校運営協議会が「みえの防災奨励賞」を受賞されました。これは、コミュニティスクールディレクターが調整役となり、学校や地域、行政が一体となった訓練の実施が高く評価されたものです。

今年度は、加茂小中学校のほか市防災訓練および県総合防災訓練も含めて各地区においてもさまざまな避難所運営に関する訓練が実施されました。今回はその一部を紹介します。



【神島小中学校避難所運営訓練】
避難してきた住民の受付をする
小中学生



【相差地区避難所運営訓練】
町内会・婦人会による
炊き出し訓練



【桃取町避難所運営訓練】
パーティーを使った
避難所運営訓練

そのほかにも、中学生を対象とした避難所宿泊体験などを実施しました。鳥羽市は、近年長期に避難所を開設するような大きな災害に見舞われておらず、ほとんどのかたが避難所で過ごした経験がありません。訓練を通じて、災害時の経験をしておくことは、平時からの備えとしてとても大事なことです。

市では、町内会や自治会、学校や企業などが実施する訓練の支援を行います。いつか来る災害に備えて、ぜひさまざまな訓練を実施してください。

一人一人が備えてこ！
防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室
☎ (25) 1118

vol.128



- 今回は、お子さんの苦手な食べ物を克服するコツを紹介しましょう。
- ① 食べ物のかたさや大きさ、食感などは食べる機能の発達に合ったものに
 - ② 苦手な味は調理の工夫で食べやすく
 - ③ 食事の時間におながやすいように
 - ④ 食卓は雰囲気を整えましょう。
 - ⑤ トライ＆エラーの繰り返しで大丈夫
- おなかの苦みや酸味を好まないことが多く、苦みや酸味を抑えた料理にすることで食べやすくなります。例えば、ピーマンはしっかりと炒めると苦みが、トマトは煮込むと酸味が減り、甘みが出て食べやすくなります。
- 小さいお子さんは苦みや酸味を好まないことが多く、苦みや酸味を抑えた料理にすることで食べやすくなります。例えば、ピーマンはしっかりと炒めると苦みが、トマトは煮込むと酸味が減り、甘みが出て食べやすくなります。
- お子さんの食べる様子を観察し、かたさや大きさなどを調節しましょう。また、食器や食具も見直してみましょう。
- また、楽しい遊びなどの体験から食への興味が湧くことがあります。ままごとや絵本、買い物、家庭菜園、お手伝いなど、お子さんと一緒に楽しんでみてください。
- さまざまな方法を試してみてもお子さんが食べられるきっかけが見つかるというですね。成長とともに好きなものを増やしていくという気持ちで少しずつチャレンジしていきましょう。

Vol.68

苦手な食べ物を克服するコツ

みんなで子育て
だっこでほっと

子育て支援センター
☎ (25) 7225